

2018年9月12日

スタディサプリ

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ

受験勉強の費用において子どもは親に「遠慮」している！？ 家計への負担を考え、子どもと保護者に価格検討のギャップが存在 現役高校生・高校既卒者とその保護者に学習サービスの価格意識に関するアンケートを実施

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社：東京都品川区、代表取締役社長：山口 文洋）が提供するオンライン学習サービス『スタディサプリ』は、学習サービスの価格意識に関するアンケートを行いましたので、結果をご報告します。

■アンケート概要

- ① 7割の子どもが金額の高さで有料学習サービスの利用をためらうと回答。
 - ② 3割弱の子どもが有料学習サービスの利用を金額に関わらず全て保護者に相談しにくいと思っているが、9割以上の保護者は相談されると検討すると回答。
 - ③ 保護者の4人に1人が、「学習サービスに月額1万円以上をかけるのは検討が難しい」と回答。
 - ④ 子どもと受験勉強の費用に関する相談を十分にしていると思う、どちらかと言えばそう思う、と回答した保護者は約5割。
- ・調査対象：オンライン学習サービス『スタディサプリ』の有料会員のうち
進学希望者（現役高校生・高校既卒者）268人／会員の保護者948人
 - ・調査方法：インターネットリサーチ
 - ・調査時期：2018年6月19日～6月24日

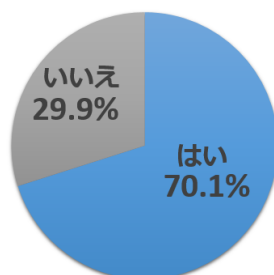
■7割の子どもが学習有料サービスの利用をためらう

今回の調査では、70.1%の子どもが「家計への負担を考え、金額の高さで受験勉強のための学習サービスの利用をためらったことがある」と回答した一方で、42.9%の保護者が「お子様が家計への負担を考え学習サービスの利用をためらっていると感じたことはない」と回答しました。有料学習サービス利用の相談について保護者と子どもに「ためらい」意識の乖離があるようです。（図①）

図①

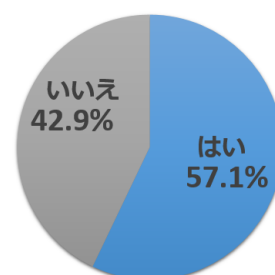
（子ども向けアンケート）家計への負担を考え、金額の高さで受験勉強のための「学習サービス（塾・予備校・参考書・通信教材・オンライン学習）」の利用をためらったことはありますか？

(回答数：268)



（保護者向けアンケート）お子様が家計への負担を考え、「学習サービス（塾・予備校・参考書・通信教材・オンライン学習）」の利用をためらっていると感じたことはありますか？

(回答数：948)



「ためらい」
意識の乖離
13.0ポイント

■3割弱の子どもが学習の有料サービスは相談しにくい、9割以上の親は相談されると検討する

27.6%の子どもが「大学受験に向けて学習サービスを利用するにあたって、有料のサービスは全て保護者に相談しにくい」と回答しました。しかし一方で、親は「お子様から受験勉強のための学習サービスの利用を相談された際にいくら以上になると検討が難しくなりますか」という質問に対し、「有料のサービスは全て難しい」と答えた保護者は3.8%。つまり、96.2%の保護者は、相談されれば検討するという結果となりました。子どもは保護者の経済的負担などを考えて、保護者に「遠慮」する傾向がありそうですが、多くの保護者は子どもから相談された際、有料サービスも検討する傾向にあると言えます。（図②）

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社リクルートマーケティングパートナーズ
https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/

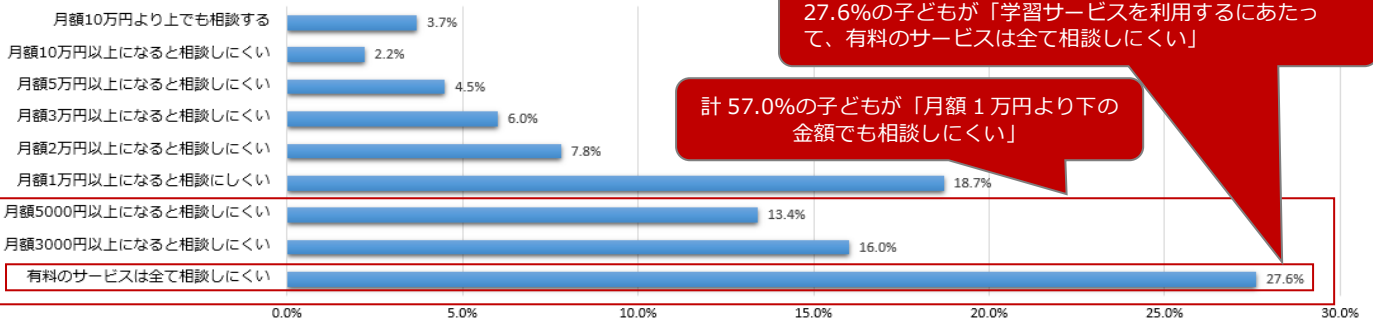
リクルートマーケティングパートナーズはこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにはない、出会い。」を届けることを目指していきます

■学習サービスは月額1万円に壁!?保護者の25%超が「月額1万円以上は検討が難しい」

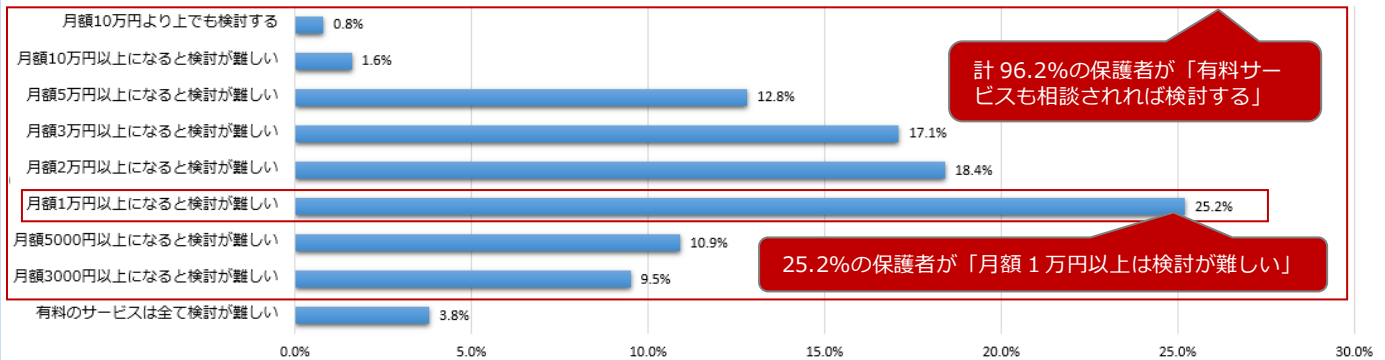
保護者のアンケート結果からは、学習サービスの値段に関して「検討の境目」がありました。「学習サービスにおいて、「月額1万円以上になると検討が難しい」と回答する保護者が25.5%いました。逆に子どもは、57.0%が学習サービスに対し、月額1万円より下の金額でも相談しにくいと思っており、学習サービスの金額に関して保護者と子でかい離がありました。1万円というと、塾・予備校においての1科目あたりの値段に近いので、その値段を参考にしてしているのかもしれませんが。(図②)

図②

(子ども向けアンケート) 大学受験に向けて「学習サービス(塾・予備校・参考書・通信教材・オンライン学習)」を利用するにあたって、保護者に相談しにくくなる金額はいくらですか?(回答数: 268)



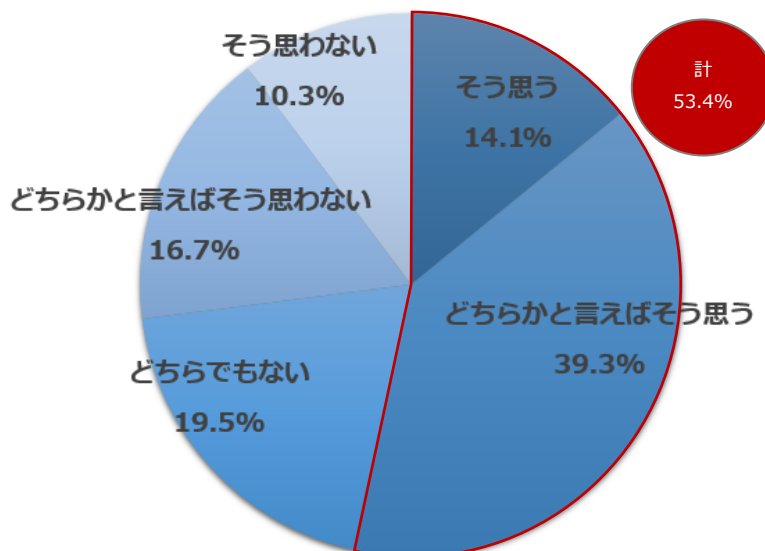
(保護者向けアンケート) お子様から受験勉強のための「学習サービス(塾・予備校・参考書・通信教材・オンライン学習)」の利用を相談された際に、いくら以上になると検討が難しくなりますか?(回答数: 948)



■相談を十分にしていると答える保護者は半数

受験勉強にかかる費用についての相談を「お子様と十分にしていると思いますか」という質問に対して、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と答えた保護者は53.4%でした。大学・専門大学に進学すると決めているにも関わらず、なかなか親子で受験勉強の費用についての相談をしていないのかもしれませんが。(図③)

図③ (保護者向けアンケート) お子様と、受験勉強にかかる費用についての相談を十分にしていると思いますか?(回答数: 948)



■子どもアンケート回答より。家計への負担以外で「教材」の利用をためらう理由（自由回答より抜粋）

- ・自分がしっかり教材を使うか自信がない、学校の教材で手一杯かもしれないと考える。
- ・塾、予備校等の講座の時間をたくさん取ってしまうと、宿題や予習等に取り組む時間が少なくなってしまうから。
- ・運営会社が信用できない会社(例:過去の上場廃止等)は親には相談しにくい場合がある。

■保護者と子どもで受験学習費用についての相談の機会を増やしましょう

今回のアンケート結果から、進学・受験のための有料学習サービス利用において、保護者と子どもの価格検討基準や負担感にギャップがあることがわかりました。子どもは保護者に「心配をかけたくない」「これ以上お金をかけさせたくない」と保護者の想像以上に家計や家族への負担を考え、遠慮しているのかもしれない。お互いに子どもの将来についてコミュニケーションを増やし、歩み寄ることが必要ではないでしょうか。保護者のみなさまは、子どもと受験についての会話の回数を増やし、どんな将来を歩みたいから、今何にお金が必要なのかを一緒に考える機会を設けてみてはいかがでしょうか。受験生である子どものみなさまは、先を見据えた学習計画を立て、保護者に相談してみましよう。

■スタディサプリについて

“世界の果てまで、最高のまなびを届けよう”がコンセプトのオンライン学習サービス『スタディサプリ』は、月額980円から実力派講師による5教科18科目と21世紀型教育講義動画4万本以上が見放題。2017年度はサービス累計有料会員64万人が利用。また、学校教育のサポートツールとしても、高校においては全国5,000校のうち2,353校、小中学校は15の自治体/団体に導入。コーチングサービスの『スタディサプリ合格特訓コース』や日常英会話・TOEIC®対策が可能な『スタディサプリ ENGLISH』などのラインナップも揃い、海外サービス『Quipper Video』はインドネシア・フィリピン・メキシコでの利用が進む。○URL <https://studysapuri.jp/>
○スタディサプリ合格実績・体験記：<https://studysapuri.jp/course/entrance-exam/result/>